

栃木県廃棄物処理計画

[平成28年度～平成32年度]

テーマ3

廃棄物処理施設の整備を促進し、 廃棄物・リサイクル産業を育成する

目 標

優良な処理業者の育成を図りつつ、廃棄物処理施設等に対する県民等の理解を促進した上で、必要な処理施設の確保等を通じて、廃棄物・リサイクル産業を育成する。

現 状 等

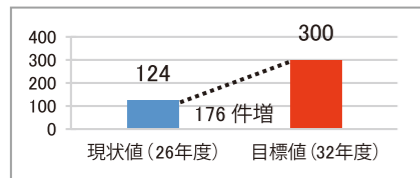
- ・ 廃棄物処理施設に対する迷惑施設のイメージが払拭しきれていない。
- ・ 産業団地等におけるリサイクル施設の立地を進めてきたが、必要なリサイクル施設の整備は不十分である。
- ・ 県内の市町の半数が一般廃棄物の最終処分場を保有していない。
- ・ 県内には、産業廃棄物の管理型最終処分場がなく、安定型最終処分場も18年度以降新規設置がない。
- ・ 廃棄物・リサイクル産業は、近年市場規模等が拡大し、自動車産業と同規模の国内市場を形成している。

主な施策

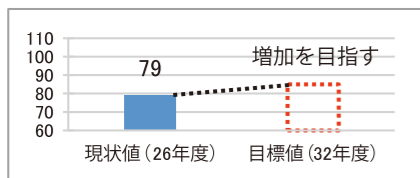
- ・ 優良な処理業者の育成
- ・ 廃棄物処理施設の必要性等についての県民等の理解促進
- ・ 優良な処理業者によるリサイクル施設の産業団地等への立地促進
- ・ 市町等の実情に応じた一般廃棄物最終処分場の整備促進
- ・ 馬頭最終処分場等の公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場の整備推進 等

指 標

■県内で優良認定を受けた産業廃棄物処理業者の数の(事業者)



■県内の産業団地等におけるリサイクル施設の立地件数(件)



市町別の最終処分場
保有状況



県民・事業者の取組

- ・ 平時及び災害時における廃棄物処理施設の必要性等についての理解を深める。 等

処理業者の取組

- ・ 優良産廃処理業者認定制度について理解し、積極的に活用する。
- ・ 廃棄物処理施設及びその維持管理状況を積極的に公開する。
- ・ 廃棄物処理施設において、積極的に地域住民の雇用等を行う。
- ・ 廃棄物処理施設の耐震化、耐水化、燃料等の備蓄、始動用電源の確保等を図る。 等

「廃棄物・リサイクル産業」
のイメージ



栃木県環境森林部廃棄物対策課

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20
(電 話) 028-623-3228
(E-mail) hai-tai@pref.tochigi.lg.jp

ベリー グッド ローカル とちぎ
VERY GOOD LOCAL

平成28年3月



1 計画策定の趣旨

東日本大震災等の発生、廃棄物・リサイクル産業の現状等を踏まえ、本県における新たな廃棄物処理計画を策定

2 テーマ

<テーマ1> 廃棄物の排出量を減らす

- ・ 廃棄物をできるだけ発生させない意識の浸透

<テーマ2> 廃棄物を処理する

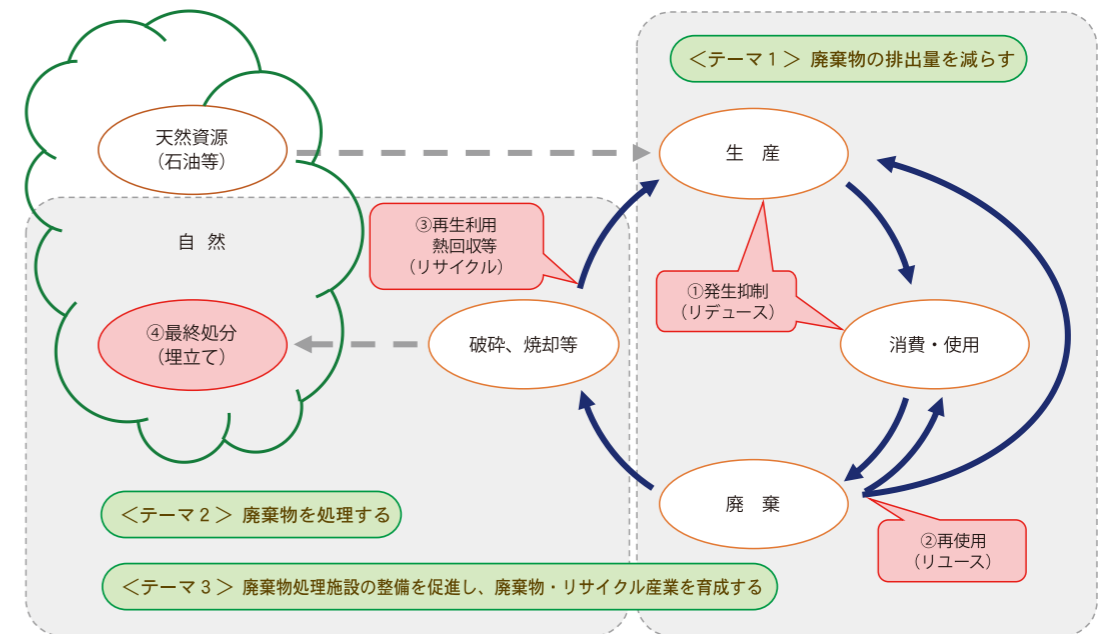
- ・ リサイクルの促進及び最終処分量の削減
- ・ 非常災害時における災害廃棄物等の処理体制の整備

<テーマ3> 廃棄物処理施設の整備を促進し、廃棄物・リサイクル産業を育成する

- ・ 優良な廃棄物処理業者の育成、必要な処理施設の確保等を通じた廃棄物・リサイクル産業の育成

3 基本的考え方

- (1) 廃棄物の排出量の削減(①・②)を基本として、排出された廃棄物の処理に当たっては、まずはリサイクル(③)に努め、リサイクルできない場合には最終処分(④)という優先順位を意識
- (2) 必要な廃棄物処理施設の確保等を通じて、廃棄物・リサイクル産業を育成



4 おおむね10年後の将来像(目指すべき将来像)

- (1) 廃棄物の排出量の削減を前提として、一連のリサイクルシステムが構築
- (2) 焼却施設から周辺施設に対する熱供給及び電力供給の取組が拡大
- (3) 非常災害時における災害廃棄物等の処理体制が確立
- (4) 廃棄物・リサイクル産業が成長し、地域で新たな雇用創出、企業立地等が実現



県内の小学校での廃棄物処理施設に関する出前授業の様子

テーマ1

廃棄物の排出量を減らす

目標

廃棄物の排出量を減らすため、県民及び事業者に対し、廃棄物をできるだけ発生させない意識の浸透を図る。

現状等

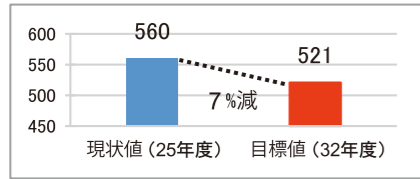
- 「県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量」は、減少傾向だが、全国平均より多い。
- 国内では、1年間(24年度)で約642万tもの食品が、本来食べられるにもかかわらず廃棄されている。
- 県内の産業廃棄物の排出量は、増加傾向だが、景気動向等に左右される。
- アンケート調査によると、県内事業者の約34%が、廃棄物の排出量の削減に取り組んでいない。

主な施策

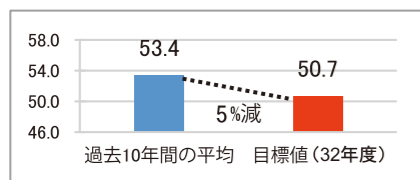
- ごみ処理の有料化の促進
- 食品ロス、レジ袋等の削減の促進
- 多量排出事業者等による発生抑制の促進
- 再使用の取組の促進 等

指標

■県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量(資源物及び集団回収に係るものを除く。)(g)



■県内の産業による生産額(実質)1億円当たりの産業廃棄物の排出量(t)



県民の取組

- 必要かどうかよく考えて物を買う。
- 物を買う際には、できるだけ繰り返し使える物を選び、買った物は大切に使う。
- 買い物ではマイバッグを使い、レジ袋はもらわない。
- リユースショップ等の活用により、中古品を有効に利用する。
- 物を廃棄する際には、市町のルールに従い、資源物を分別する。 等



事業者の取組

- 製造業者は、製品等の耐久性を向上させる。
- 小売業者は、レジ袋の配布の自粛、簡易包装等に取り組む。
- 備品等を購入する際には、できるだけ繰り返し使える備品を選ぶ。
- 事業所内から出る資源物の分別を徹底する。 等

ごみを減らすためには?

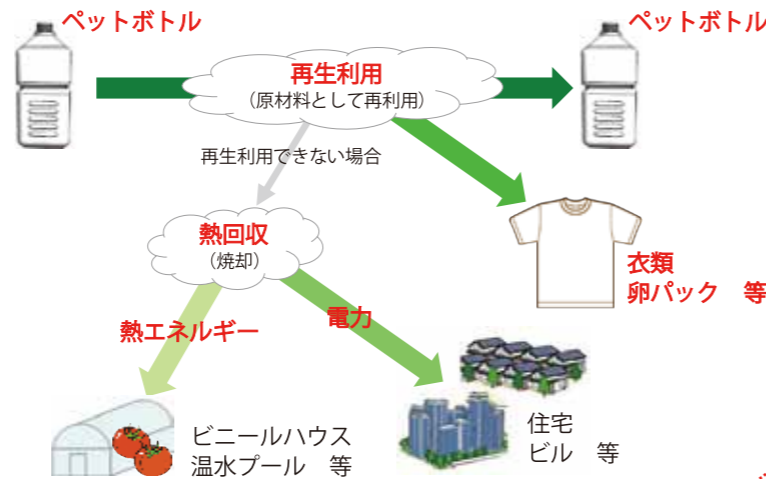
- 行きつけの**コーヒーショップ**で、紙コップ(360ml)ではなく、**マイタンブラー**を使うと? ⇒ **15g**削減!
- シャンプー**(400ml)を購入する際に、ボトル入りのものではなく、**詰替用**を選ぶと? ⇒ **40g**削減!
- 鮮度の落ちた**スカイベリー**(1パック)を捨てずに、**ジャム**を作ると? ⇒ **300g**削減!
- 夕食の**買い物**の際に、**マイバッグ**を使い、レジ袋(2枚)をもらわないと? ⇒ **15g**削減!
- 使用済ペットボトル**(500ml)を分別して、**資源物**としてごみステーションに出すと? ⇒ **20g**削減!
- 読み終わった**新聞(朝刊1日)**を分別して、自治会の**廃品回収**に出すと? ⇒ **120g**削減!
- スーパー**で買い物のついでに、店頭のリサイクルボックスに**牛乳パック**(1,000ml)を出すと? ⇒ **30g**削減!

世界では、約9人に1人に当たる**約8億人**が**飢餓**に直面もったいない!

食べものに、もったいないを、もういちど。

NO-FOODLOSS PROJECT

ペットボトルをリサイクルすると?



テーマ2

廃棄物を処理する

目標1

リサイクルを促進し、天然資源の消費を抑制するとともに、最終処分量の削減を図る。

現状等

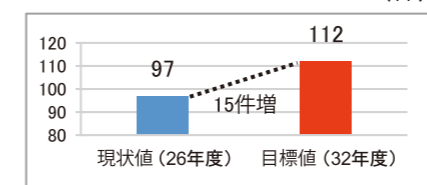
- 県内で排出された一般廃棄物又は産業廃棄物の再生利用率は、共に横ばい傾向だが、その算定対象とされていない熱回収等の取組も重要である。
- 県内で排出された一般廃棄物又は産業廃棄物の最終処分量は、共に減少傾向だが、最終処分場の残余容量も減少している。

主な施策

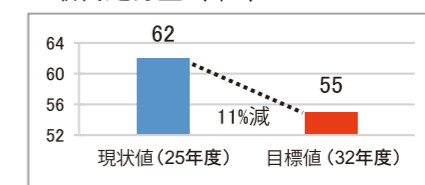
- 廃棄物の分別の徹底
- 「とちの環エコ製品」の需要拡大及び認定件数増加
- 循環ルートの確保、原材料の安定的な確保、再生品の需要拡大等による一連のリサイクルシステムの構築
- 周辺施設への熱供給又は電力供給を念頭に置いた熱回収の取組の促進
- 廃棄物の不適正処理の防止 等

指標

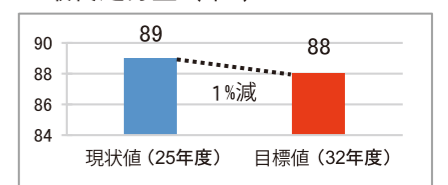
■「とちの環エコ製品」の認定件数(件)



■県内で排出された一般廃棄物の最終処分量(千t)



■県内で排出された産業廃棄物の最終処分量(千t)



目標2

非常災害時において、災害廃棄物等を円滑かつ迅速に処理できるよう、市町等、関係団体、処理業者、関係都県等と連携し、そのための体制を整備する。

現状等

- 東日本大震災、平成27年9月関東・東北豪雨等では、大量の災害廃棄物等が発生した。
- 東京電力福島第一原子力発電所の事故により放射性セシウムを含む廃棄物が発生した。

主な施策

- 市町等、関係団体等と連携した災害廃棄物等の処理体制の整備
- 放射性物質に汚染された廃棄物の処理の促進 等

県民の取組

- 物を廃棄する際には、市町のルールに従い、廃棄物を分別する。
- 使用済家電製品等については、各種リサイクル法等に基づき、適切に引渡し等を行う。
- 物を買う際には、できるだけ再生品である物を選ぶ。 等

事業者の取組

- 製造業者は、リサイクルしやすいよう、製品等の設計を工夫する。
- スーパー等は、店頭で自らが販売したペットボトル等を回収する。
- 事業所内から出る廃棄物の分別を徹底する。
- 備品等を購入する際には、できるだけ再生品である備品を選ぶ。
- 廃棄物の処理を委託する場合には、排出者責任を踏まえ、優良な処理業者を選ぶ。 等

処理業者の取組

- 廃棄物処理法等を遵守する。
- リサイクルの推進のために必要な人材育成等を行う。
- 栃木県リサイクル製品認定制度について理解し、積極的に活用する。
- 災害時における事業継続計画を策定する。 等